

令和7年度(2025年)第1回 ハラスメント防止研修 実施報告書

1. 研修実施概要

- 実施日時:2025年1月度(定期研修)
 - 研修形式:労働者向けハラスメントオンライン研修
 - 対象者:全従業員(役員、正社員、現場スタッフ、事務員)
 - 使用教材:株式会社中原建設 ハラスメント防止研修資料(社外リスク対応編)、緊急報告ルートマニュアル
-

2. 研修テーマ

「社外からの暴言・暴力行為に対する組織的防衛と姿勢の共有」

3. 研修カリキュラム・教育内容

① 「社外からのハラスメント」に対する会社方針の厳格化

- 近年、社会的に問題視されている取引先や顧客、周辺住民などからの理不尽な要求や悪質な不当行為(第三者ハラスメント)の現状について学習しました。
- 当社のハラスメント防止ポリシーにある「社内にとどまらず、社外の者からの暴言暴力行為は断じて許しません」という不退転の決意を、改めて全従業員で共有・浸透させました。

② 現場トラブル発生時における従業員の孤立防止

- 建設現場の周辺や取引先との関わりの中で、威圧的な言動や暴言、理不尽な要求を突きつけられた際、現場の従業員が個人で抱え込んで示談・妥協しようとすることの危険性を検証しました。
- 従業員の安全とメンタルヘルスを守るため、ハラスメントに直面した場合は「その場で会社(上司またはヘルプライン窓口)へ即座に報告・相談する」という組織的防衛の鉄則を確認しました。

③ 組織対応への移行フロー

- 暴言や暴力行為があった場合、現場作業を一時中断してでも従業員の安全を最優先にし、複数人対応や会社上層部・顧問弁護士等の介入を含めた「組織による対応」へ速やかに切り替えるフローをマニュアル化しました。
-

4. 研修成果と今後の課題

- 成果:会社が「いかなる相手であっても暴言・暴力から社員を守る」姿勢を明確にしたことで、現場で働く従業員の安心感が非常に高まりました。
 - 課題:今後は、発注者や元請け、一般顧客からの過剰なクレーム(カスタマーハラスメント)に焦点を当て、現場での具体的な初期セリフや毅然とした対応態度など、より実践的なスキルを次回(4 月度)学ぶ必要があります。
-